

総務委員会

委員長 鈴木修司

1. 事業報告

本年度、総務委員会は、「ZHSI・HAYAMA SPIRIT ～らしさの追求～」のもと、良き伝統を守りつつ時代に即応した組織運営に主眼に置き、総務・庶務、渉外事業を担当し、理事会をはじめとする LOM における日々の JC 活動が円滑に進む事を目的とし、例会事業では3回の総会を担当いたしました。

1 月第 1 例会(第1回通常総会)は、公益法人団体の『組織の最高決定機関』という総会の意義と、参加・参画の自覚と責任をメンバーに再認識して頂くことを踏まえ、メンバー一丸となった設営を目指した上で開催いたしました。委員会による出席勧奨不足のため出席率は約60%に止まってしまいました。セレモニーの進行にミスもありましたが、出席したメンバーは総会の意義を理解し、積極的な設営・進行に取り組んで頂き委員会だけではできないより良い総会となりました。

2 月には OB 同友会から助成金を頂きました事から、一般会計より補正予算を組みことなり臨時総会を開催しました。準備・出席勧奨が不十分で、メンバー出席が半数強にとどまり、急な総会や事業にも対応できるシステムづくりが大切であると感じました。

8月第 1 例会(第2回通常総会)は当初の予定より諸事情により送れての開催となりました。設営等は理事長を初めとする LOM メンバーの積極的な協力により、開催準備の段階から LOM 一丸となつての事業となり、次年度へ向けての結束の一片を感じさせられました。総会案件である議案は満場一致で可決となりましたが、例会扱いである総会後の懇親会では、OB が全て退席となり進行が大きく変更となってしまいました。懇親の意味では多くのメンバーが顔を揃え、集い語らいをとりその中から次年度への激励の一助となったと考えます。

12月第1例会(第3回通常総会)は進行に少々の不備もありましたが、遅参するメンバーも少なく出席率も95%と高く、また、設営・開催・撤収を通してメンバー各々が総会の意義を高く意識しての参加が強く感じられる総会でした。それらを踏まえ、本年度スローガン「ZUSHI・HAYAMA SPIRIT～らしさの追求～」から培われたエッセンスを活かし、メンバー・組織が更なる飛躍をする為の厳粛な引継ぎ・継承の場となる事業であったと確信しております。

総務・庶務活動においては各種事業等の担当部門を適正に行い、事業が持つ本来の目的がより高いレベルで達成する活動を考えておりましたが、目の前の課題に囚われ実践には至りませんでした。またホームページ・メーリングリストと いう点も作製の段階より業者との連携が取れず遅れた状態で、管理・機能できませんでした。渉外活動での各種連絡調整等情報の伝達及び発信も十分な活動ではありませんでした。

本年は活動を通して委員会メンバーが JC 活動における組織運営のスペシャリストとしてのスキルを更にあげ、Jaycee としてより高いレベルで活動する事を目的としておりましたが、スペシャリストにはまだ多くの課題が残され修練が必要と感じます。しかしその意味で、各々が目標に対して今どの位置にいるのか、そして今後何を課題とするべきか掴めたと思います。それらへの取り組み・実践の結果が各々の Jaycee としての資質向上となり、ひいては LOM の更なる活性化の一助となることを本年度の総務委員会の事業報告といたします。

2. 例会報告

1月第1例会

テーマ 『第1回通常総会』
日時 1月24日 19:30～20:30
場所 逗子市商工会館
出席者数 メンバー14名・OB13名
出席率 60.8%

臨時総会

テーマ 『臨時総会』
日時 2月19日 19:30～20:30
場所 逗子市商工会館
出席者数 メンバー12名

出席率 52.2%

8月第1例会

テーマ 『第2回通常総会』
日時 10月25日 19:30～21:30
場所 逗子市商工会館3F
出席者数 メンバー16名。OB10名
出席率 76%

12月第1例会

テーマ 『第3回通常総会』
日時 12月18日 17:45～18:45
場所 葉山マリーナエメラルドルーム
出席者数 メンバー19名 OB6名
出席率 95%

渉外全般の業務

慶弔等の催事連絡調整と諸手配(窓口は専務理事)
ブロック会長公式訪問の設営と連絡調整(窓口は専務理事)

総務及び庶務全般の業務

理事会設営及び議事録の作成
出席率の発表
新入会員入会式の執行
理事就任手続き及び役員登記
会員名簿、名刺の作成
JC手帳の発注、基本資料の作成
賛助会員への手続き業務
倉庫、備品及び消耗品の管理
デジタルライブラリーの更新、会員台帳のデータ更新
ホームページ・メーリングリストの管理更新

3. 事業反省

- 1、予定者の段階より第1回総会までの間、タイトな作業が多く、委員会立ち上げ・開催などが出来ず、そのままの流れで一年経過してしまい委員回数が極端に少なかった為、活動が悪循環になってしまった。
- 1、ホームページ・メーリングリストの作製・管理・更新を怠ってしまった
- 1、総会において細かな不備が多くあった

4. 申し送り

- 1、ホームページ・メーリングリストは担当を決め、管理・更新はシステムを作って行なうと良いと思います

1、 委員会メンバーが少ない中での総務・庶務業務は担当・期日などのシステムをより明確にし、連絡を密に取りあうことを心掛けると良い。

5. 委員会開催日

2007年

1月9

2月7、25

3月7

4月10

5月11、16

6月12、24

7月10、

8月6

10月9

11月7

12月5

合計14回

6. 総務委員会年間事業決算